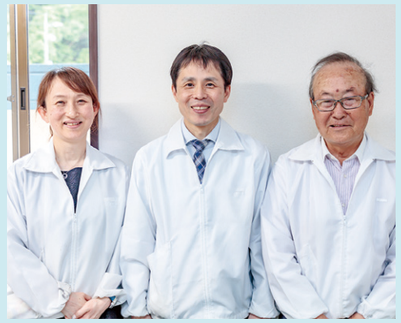
Passion enlivens an area
ひろしまの力

地域に根付き、盛り上げる広島の力。
今回は、働き方改革や人材育成に積極的に取り組んでいる2社を訪ねました。

2021夏号テーマは…
『働く人が主役の職場づくり』

「社員は皆家族」定年まで働きたいと思える企業づくりへ



代表取締役社長 **松下 琢哉** さん（写真中央）
大学卒業後、大手電機メーカーを経て、2001年に㈱テック入社。2021年に代表取締役社長就任。創業者の水戸裕孝代表取締役会長兼CEO（写真右）、総務の松下秀美取締役（写真左）と協力しながら、より良い職場づくりに取り組む。

社員とのコミュニケーションは大切にしていることの一つ。定期的に各部署のリーダーが集まって意見交換し、業務改善に努める。

従業員の約半数を占める女性は、特に検査能力などに秀でており、欠かせない戦力。役職を得て活躍する人や信頼の厚いベテランも多い。

「働き方を見直したきっかけは、新卒の採用なんです」と話してくれたのは、竹原市に本社を置く株式会社テック代表の松下琢哉さん。ディスプレイ画面などに用いられる部品の加工が主業の同社では、事業内容を知ってもらうための会社説明会を開いても、学生の参加自体が少なく、採用がゼロに終わった年もあった。

「それなら新入社員採用の前に、今いる従業員が定年まで働きたいと思ってもらえるようにしよう。そう考え方を変えて、職場環境を見直しました」と、総務で人事に携わる松下秀美さんは教えてくれた。

まず見直したのは有給休暇や看護休暇などの社内制度。それらの取得率を上げるためには従業員同士が業務をカバーし合える環境が不可欠と考え、複数の専門技術を身につけた〝多能工〟の育成に力を注いだ。その結果、気兼ねなく休める体制が整い、女性従業員の産休・育休後の復職率は100％を達成した。

また、会社のビジョンや具体的な目標数値を見える化し、周知を徹底。目標実現のために自分は何ができるか自ら考えてもらえるように、「ポジティブチャレンジ」という活動も取り入れた。

加えて能力評価も見直したことで、モチベーションや業務効率も向上。少しずつ職場の雰囲気が変わり、生産性と品質、そして売上アップという結果が現れ始めている。

「ベースとなっているのは、創業以来会長が大切にしてきた『社員は皆家族』という姿勢。今後も助け合い成長する会社でありたい」と松下琢哉さんは語った。

株式会社 テック
1986年創業。ディスプレイ画面に多く用いられる樹脂フィルムのカットや貼り合せなどの加工、検査を手掛け、確かな品質で信頼を重ねる。
竹原市西野町195-1
☎ 0846-29-1888

・第5回 広島県働き方改革実践企業認定取得
・健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）に認定

業務の多くは管理の徹底したクリーンルーム内で行われる。多品種小ロットのニーズに確かな品質で応えるために人の手と目が欠かせない。

検査は、一枚一枚に傷や折れ、汚れなどがないかを確認する重要な工程。経験を重ねた従業員の正確性とスピードが同社の信頼を支えている。

作業習得レベルを見える化した名札を採用。従業員の自信とスキルアップへのモチベーションにつながった。

積極性を生むことを目的とした「ポジティブチャレンジ」では、一般社員の中からリーダーを決め、少数グループ内で職場の課題と解決法を考え、全社員の前で発表する機会を設けた。階段下の衝突を避けるためのサイン表示（写真）は、その取り組みの一つ。

働く人の目線に立ち「人が辞めないサロン」づくりを

代表取締役 **鍋島 道樹** さん
大阪芸術大学在学中に現広島美容専門学校通信課程にて美容師免許取得。1999年「美容室FRAME」を創業。「いつも心はノーガード」をモットーに、「人づくり」に努め、100年後も愛されるサロンを目指す。

社員を大切な家族として迎える「FRAME」の入社式。ご家族にも出席していただき、新入社員から家族へ感謝の手紙を読み上げ、ご家族からは応援メッセージをいただくサプライズ演出を設けている。

「一般的に従業員の入れ替わりが激しい印象がある美容業界で、女性従業員の離職率ゼロという実績を挙げているのが、現在東広島市に8つの美容サロンを展開する「FRAME」。

10年前に託児所付きのサロンを設けたきっかけは、「早く仕事に復帰したいけれど、子どもの保育所が決まらない」という女性従業員の声。当時はまだ企業内保育施設の前例も少なく、「イクメン」「イクボス」という言葉さえ一般的ではない時代だった。

「ノウハウもなく保育施設を作る決断は大変だったのでは」と尋ねると、「そんなことより優秀な従業員が復職したいと言ってくれることの方が最優先でした。だから、できることはやってみようとしか考えませんでした」と、代表の鍋島道樹さん。

鍋島さんの職場づくりの基本は、「自分だったらこういう店で働きたい」という働き手の目線。そうして環境を整えた後は、つい意見したくなる思いをぐっとこらえ、任せて見守ることで人は育つと実感してきた。

「全部口を出していたら考えない組織になってしまう。『やらされている』と思っている間は人は育ちません。会社のビジョンを理解してくれる次の世代を育てることは簡単ではありませんでしたが、今では安心して任せられるようになりました」

長く勤める従業員も、長く通うお客様も多いサロン。「深く寄り添っていたらお客様は離れない」という鍋島さんの言葉は、「深く寄り添っていたら従業員は離れない」という企業姿勢にもしっかりと反映されている。

FRAMЭ（フレーム）
1999年、美容室「FRAME」を創業。美容室を中心にエステ、ネイル、フォトスタジオなど「笑顔」と「元気」を生み出すサロンを展開。
東広島市西条本町11-22 上田ビル3F
☎ 082-421-2355

・広島県仕事と家庭の両立支援登録企業
・広島県「イクボス同盟ひろしま」メンバー企業
・「東広島働く人の健康づくりプロジェクト認定事業所」認定

保育士が常駐するサロン併設の託児所。お客様も利用できるため、ゆっくり自分のケアができない小さなお子様連れの方にも喜ばれている。

若いスタッフに気さくに話しかける鍋島さん。「雇用育成型のサロンであるFRAMEは、人を育てることが使命」と語る。ここで成長し合い、夢を実現したいと思える関係づくりを率先して示すように、一人ひとりに目と心を配る。

サロンの託児所に二人の子どもを預けて仕事を続けてきたという女性スタッフ。「保育料が無料で経済的にも助けられました。FRAMEだから仕事を続けられたし、この店が大好きだからこれからも続けていきたい」